

コロナ禍でも アフリカで広がり続ける

『ICT x 探究実践』 メソッド

神戸情報大学院大学
副学長・特任教授
内藤 智之



神戸情報大学院大学（KIC）の 教育方針とメソッドについて

神戸情報大学院大学 At a glance :

「**ICT x 探究力**」を通じて

国内外の**社会課題を解決する人材を輩出**することを目的とした大学院

コース名：情報技術研究科 情報システム専攻

学位：情報システム修士（専門職）

2021年度入学者：日本人40%，外国人60%

うち04月入学（日本語）日本人70%，外国人30%（主に中国・台湾）

うち10月入学（英語）日本人20%，外国人80%（主にアフリカ・中東）

備考：文学系学部出身者も入学可能

2019年 JICA理事長賞受賞

2020/2021年 日本/世界銀行共同大学院奨学金制度採択校



近年修了生の研究テーマ（代表的な「ICT x 探究力」）：

- 「画像認識技術を用いた食用牛の傷病診断」（エチオピア国籍：文科奨学生）→食料問題への探究 x ICT
- 「漁業のためのIoTとAIシステム」（ベナン国籍：ABE生）→漁業問題への探究 x ICT
- 「日本の消費者によるアフリカ製オーダーメイドドレス購入と紛争国シングルマザーの雇用安定を両立させるビジネスモデルとスマートフォンアプリ」（日本人（秋入学））→雇用問題への探究 x ICT

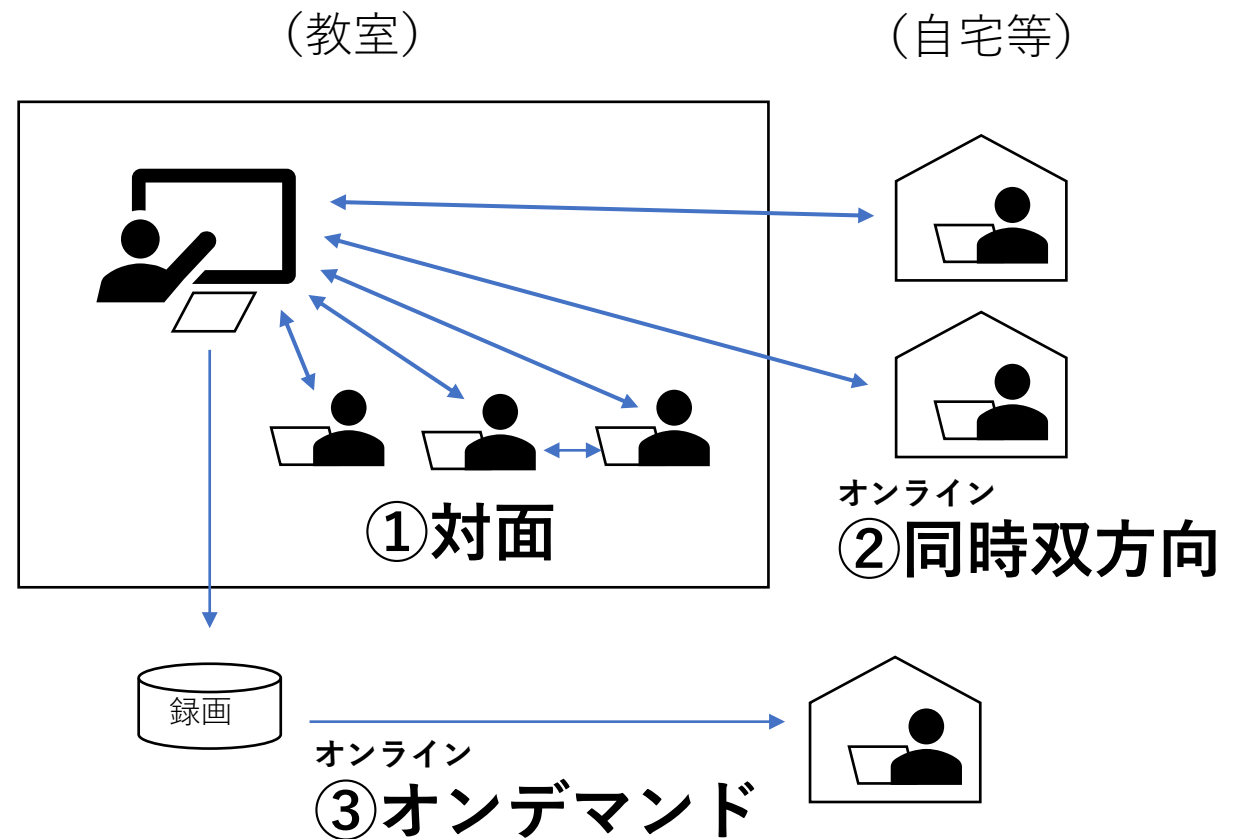
受講スタイル (# 1)

昼授業はハイフレックス、夜授業は全面オンライン。
在宅でも、遠距離でも、働きながらも、学びやすい環境を提供

教員は教室からZoomライブ配信

自身の状況に応じて**学生が選択可**

- ① 教室で**対面**受講
- ② 自宅等で**同時双方向**で受講
- ③ 後で**オンデマンド**で受講



受講スタイル（#2）

フルオンライン履修制度（※「通信教育」ではありません）

神戸に通学する必要なく、どこからでも学習可能

日本の遠距離からでも、海外からでも、**完全にオンラインだけで修士号を取得できる**

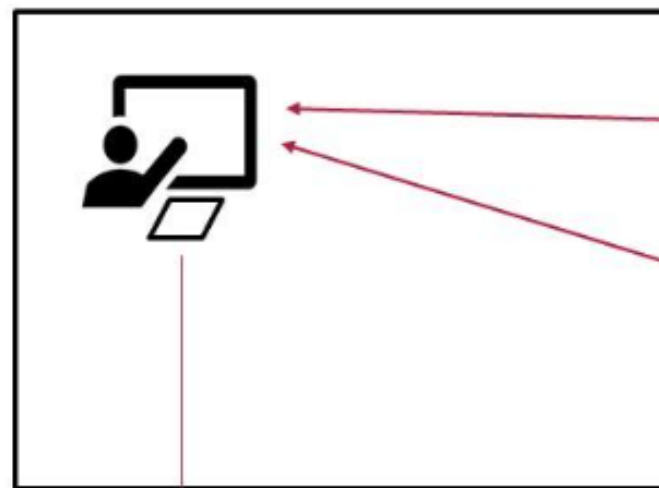
・教員は教室あるいは研究室、自宅で講義やゼミ（研究指導）を行いオンラインで配信します。

・フルオンライン履修生は、自宅等で同時双方向オンラインで受講します。

※上記に加えて、反転授業型のビデオ受講が行われる場合があります。

（教室・研究室等）

（自宅等）



オンライン
同時双方向

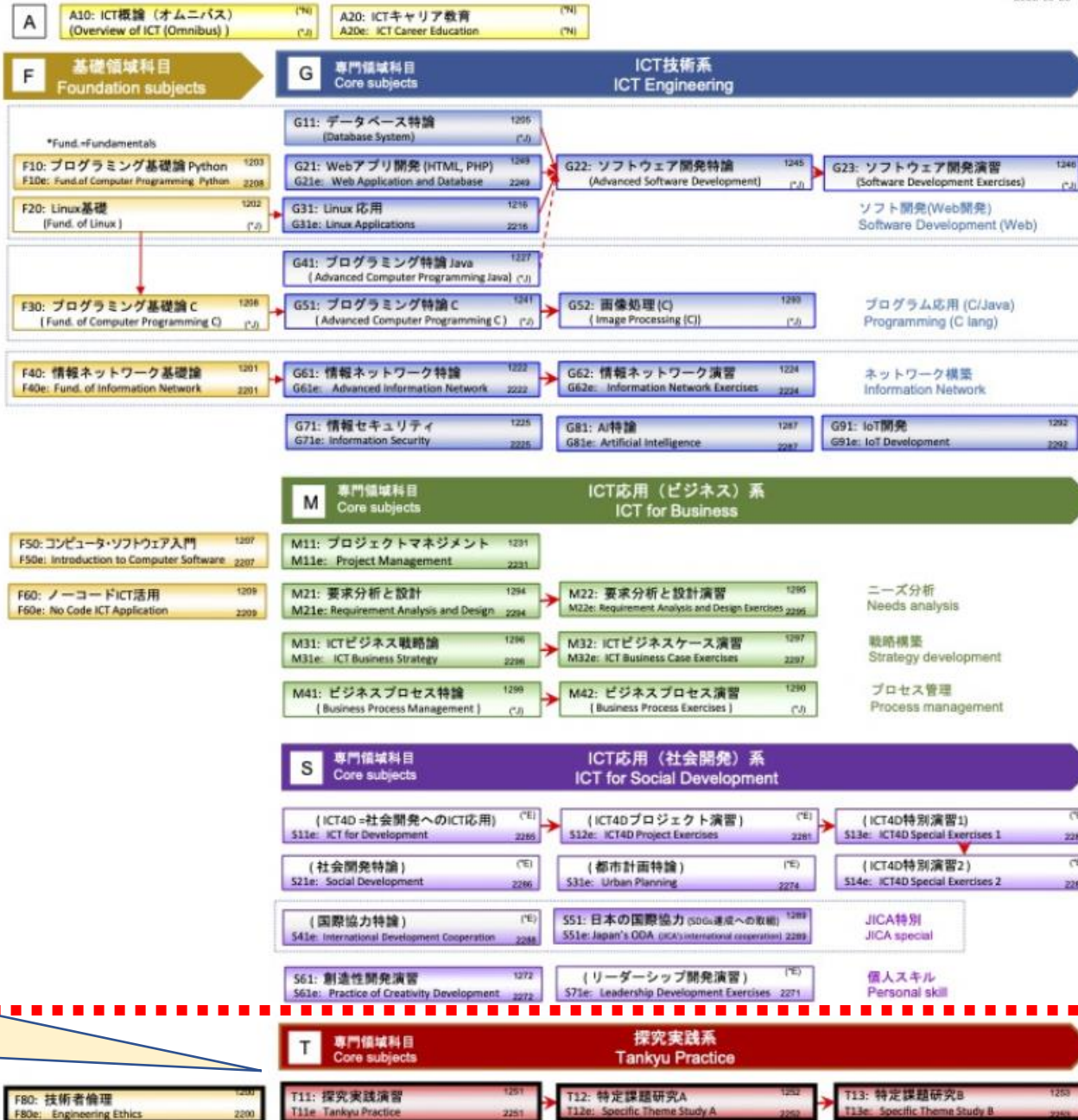
教員が
作成した
教材

オンライン
ビデオ受講（反転授業型）



Course Map 2022s

2022-03-23



ICT系
科目

「探究実践」
を必須科目と
している

ICT系
科目
+
探究実践系
科目
=

「探究で課題を
掘り下げ、
ICTで解決
することに
チャレンジ
できる人材」

TANKYU CHART

Issues Identified

Social issues to be solved:
current situation /problems

Possible Solutions

Solution Hypothesis:

Value to people

Goal to be achieved

Solution Enablers

Business Model

Budget balance

Who will pay?

Sustainable?

Technologies

Which
technology?
Cost effective?

Human Resources

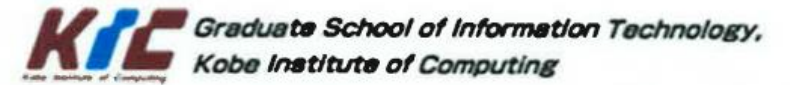
Core leaders
Supporters
Service
providers

アフリカで神戸情報大学院大学（KIC）の 『探究実践』が自然拡大している実例

近年（コロナ前より）、特にアフリカへ帰国した修了生から「自国でも『ICTx探究』メソッドを教育目的で活用したい」という要望がコンスタントに増加中。

希望する修了生に対して、履修実績／活用目的等も鑑みて上で、「インストラクター」証明書を発行し、母国＋ α での活用・普及をサポートしている。

TP001210710



This is to certify that
Mr. MUHATE, Gracane Xavier
is qualified as
‘TANKYU METHOD Instructor’
who can engage in instruction activities of
TANKYU METHOD™, the methodology of “Tankyu Practice”

The practice shall be conducted in accordance with the conditions described below.

1. Instruction activities of TANKYU METHOD, the methodology of “Tankyu Practice” shall be permitted under the school curriculum, and they shall not be implemented for a commercial use.
2. When using “Tankyu Practice” teaching materials, specify the source “Sumitani, KIC”.
3. Those activities shall be limited those within a subject “Project I” which is provide by Mr.MUHATE at Universidade Politécnica/Polytechnic University in Mozambique.
4. In case of implementing beyond the above limitations, permission must be obtained from Kobe Institute of Computing, and a contract of the activity should be required before the implementation.

Date: July 12, 2021

President Toshiki Sumitani

Graduate School of Information Technology,
Kobe Institute of Computing,
JAPAN

コロナ禍でKIC修了生「探究インストラクター」が活躍している事例



独立行政法人国際協力機構（JICA）

草の根技術協力事業

「神戸・キガリICTビジネス・イニシアティブ」

（神戸市・神戸情報大学院大学・CDCインターナショナル社）



●プロジェクト目標

『日本とルワンダのビジネスの架け橋になることを目的として、ICT人材が育成される。』

KICメソッドである「ICT x 探究力」を、ルワンダ大と協働し、ルワンダで普及・浸透させていく。

●ターゲットグループ

学生（大学3・4年生）及び民間企業で働く若者（合計60名）、ルワンダ国内民間企業

●現地カウンターパート

国立ルワンダ大学

●実施期間：2020年3月～2023年2月

→ **コロナ禍により**半年開始が遅れて、日本人の現地渡航も困難になったため、**日本人による研修はフルオンラインで実施、現地のKIC修了生（探究インストラクター）にローカル対応を委託し、完全遠隔でのプロジェクト実施管理を可能とした。**

2022年に
始まった
ルワンダでの実例



RURARERA TANKYU イノベーションセンター

会社案内



RURARERA
TANKYU INNOVATION CENTER

はじめに

ルラレラ探求イノベーションセンターは、さまざまな社会問題の解決と若者の雇用創出を強化するために、2021年に民間企業として設立されました。私たちが用いているTANKYU Practice (探究実践) は、目標達成に最適な手法であることが証明されており、以下の問いに答えるものです。

どのように社会的課題を特定するのか？

その解決に向けて、どのように自分の力を発揮するか？

そして、どのように解決策を作り出すのか？





私たちについて

私たちは、ルワンダを拠点に、新しいアイデアの生成、テスト、共有、開発のための適切かつ最も安全な場所として、4つの主な目標を掲げています。

- ルワンダの若者が TANKYU Practice を使って、自分たちのコミュニティを妨げている問題を特定し、分析し、革新的な解決策を作り出せるように手助けすること。
- グローバルな市場競争へ対応するため、既存企業の革新的なアイデアの発掘を支援すること。
- 短期トレーニング、コンサルティング、パートナーシップを通じて、起業やビジネススキルが十分でない個人やビジネスオーナーをエンパワーすること。
- プロフェッショナリズムと透明性を通じて、イノベーターとイノベーションセンター（およびその他の機関）の間の信用問題を解決すること。



┌ 私たちのビジョン

イノベーターが持続的にアフリカでのビジネスを発展させるためのネットワークと支援の発信地となること。



┌ 私たちの使命

国内および国際市場における革新的なアイデアの支援と商業化、雇用創出への貢献、知識集約型経済文化の推進。

チーム紹介

私たちのチームは、新しいポジティブなことを実現するための情熱を持った、次のような進歩的なプロフェッショナルで構成されています。



Eraste RURANGWA
共同創設者・特別顧問

Ephrem NZAYIKORERA
共同創設者・CEO



Annah TESIRE
営業部門責任者



KIC修了生
(2018)
ルワンダ国籍
ABEイニシアティブ
ソフトウェア開発
エンジニア出身

ICT人材育成

ICTの専門家や学生に研修の機会を提供し、起業家精神を高めてもらうことを目的としています。研修生は、「Tankyu Practice」のアプローチを用いて、具体的な社会問題の解決策を考え出す力を身につけます。



ビジネスアイデア開発

課題を発見し、解決策を提供した後、実施可能性を高めるために、アイデアを伝わりやすいビジネスコンテンツやドキュメントに変換します。私たちは、ビジネス文書が十分に作り込まれていることが、潜在的なステークホルダーへアイデアを伝えるキーになると考えています。ビジネスモデル、ビジネスプラン、会社案内などのビジネス文書を作成し、ビジネスが生き残るために必要なアドバイスを提供します。

RURARERA

TANKYU INNOVATION CENTER

革新的なアイデアを、売れる製品・サービスへ。



rurareratic



info@rtic.rw



www.rtic.rw



(+250) 788 782 152



Kimironko, KG 192 St.
Kigali, Rwanda



— 神戸情報大学院大学 —

課題解決力×ICTスキル

高まる人材価値、

広がる活躍のフィールド。

KIC（神戸情報大学院大学）の教育では、独自の「探究実践プログラム」により、あらゆる産業領域での課題解決と価値創造に必要な眼差し、思考力、行動する力を養い、高度ICT人材としての土台を築きます。技術だけを追い求めるのではなく、課題にしっかりフォーカスすることで、ICTの必要性を強く認識し、学びの密度とスピードが格段に高まります。KICでは様々な国籍、年齢、キャリアの学生が集い、文系・理系の出身学部、ICTに関わる経験の有無に関わらず、実務家教員の手厚いサポートのもと、AIやIoTあるいは最先端のドローンを活用したシステム開発やビジネス創成に取り組んでいます。熱意をもって取り組める課題・テーマを自ら発見し、自分の特性や強みを活かし、磨きながら課題解決を実践できる人材。それがKICの育成する高度ICT人材です。

www.kic.ac.jp